

## 会 議 録

会 議 名	令和元年度第5回野田市コミュニティバス検討専門委員会会議
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	1 令和元年度（運行計画見直し後）の利用状況について（公開） 2 交通不便地域の対応策の進捗状況について（公開）
日 時	令和2年2月25日（火） 午後1時30分から午後2時まで
場 所	市役所低層棟4階 職員控室
出席委員氏名	石塚 一男、齊藤 達夫、中村 恵美子、 原 正之、谷田貝 しづ子
欠席委員氏名	無し
事 務 局	今村 繁（副市長） 生嶋 浩幸（企画財政部次長（兼）企画調整課長） 池田 文彦（企画調整課長補佐） 中山 晶博（企画調整課調整係長） 野本 勝大（企画調整課調整係主査） 花立 巖（企画調整課調整係主任主事）
傍 聴 者	1名
議 事	令和元年度第5回野田市コミュニティバス検討専門委員会会議の会議結果（概要）は、次のとおりである。
<p>1 開会</p> <p>原議長 本日は傍聴希望者が1名おり、傍聴を許可していることを報告する。</p> <p>原議長 副市長から御挨拶をお願いします。</p> <p>2 副市長挨拶</p>	

<挨拶>

### 3 議事

原議長 議事に入る。議事（１）令和元年度（運行計画見直し後）の利用状況について、事務局から説明をお願いします。

#### （１） 令和元年度（運行計画見直し後）の利用状況について（資料１）

<事務局説明>

- ・ 新たな運行計画での利用状況について、令和元年度の４月から１月までと平成 30 年度の４月から１月までの 10 か月間の利用状況を比較すると、平日と休日で日数の違いがあり、ルート分割等の影響があるため、厳密な比較は難しいが、平日、土日祝日別の 1 便平均の利用者数は、北ルートと南ルートの利用が大きく減少している状況にあり、特に、北ルートの平日は 8.3 人、南ルートの平日は 9.0 人の減少となっている。
- ・ ４月から１月までの 10 か月間の利用者数は、12 ルート合計 249,293 人であり、平成 30 年４月から１月までとを比較すると、600 人増加している。
- ・ ルート別では、ルートの分割を大幅に行った北ルートと南ルートの利用人数の減少が顕著となっている。
- ・ 11 月から１月までの月別の利用者数については、11 月は前年度比で 810 人の増加、12 月は前年度比で 1,423 人の増加、１月は前年度比で 970 人の増加となっている。
- ・ 空車発生状況は、関宿城ルートの空車便数 654 便が、全体の空車便数 1,518 便の約 43%を占めている。運行日数が 302 日であり、単純計算では、運行日の 1 日のうちで、2.2 便に 1 便が空車となっている。
- ・ 空車率を便別で見ると、関宿城ルートの平日の 1 便及び 9 便、土日祝日の 1 便及び最終便が高くなっている。
- ・ 北ルート清水については、平日、土日祝日共に最終便の空車率が高く、それぞれ 1.7 回に 1 回、12.5 回に 1 回が空車となっている。
- ・ 北ルート堤台については、平日、土日祝日共に最終便の空車率が高く、それぞれ 6.5 回に 1 回、3.3 回に 1 回が空車となっている。
- ・ 南ルート大殿井については、平日の最終便、土日祝日の 1 便の空車率が

高くなっている。

- ・ 南ルート循環については、平日の最終便が突出して高くなっている状況で、1.8回に1回は空車になっている。
- ・ 利用者は徐々に定着してきている傾向にあるが、依然として1便平均の利用が進まない、大変厳しい状況であるため、利用促進を図っていく必要があると認識している。
- ・ まめバスの利用を促すため、最寄りのバス停から買物や公共施設等へ行くまめバスのルート等の周知のためのお知らせを、順次、自治会ごとに全戸配布の御協力をお願いしており、今後も引き続き、まめバスの便利な利用方法の周知を行う。

原議長 事務局からの説明について、御質問・御意見等はあるか。

〈審議〉

原議長 月をまたいでも同じルートで空車が見られるという認識で良いか。

事務局 そのとおりである。

原議長 ほかになければ、議事（2）交通不便地域の対応策の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。

（2） 交通不便地域の対応策の進捗状況について（資料2）

〈事務局説明〉

- ・ 小山地区の運行案については、当初、イオンタウン七光台で折り返すルート案と川間駅南口で折り返すルート案を考えていたが、イオンタウン七光台にできるだけ多く停車できる方が望ましいという意見を反映し、火曜日と木曜日の運行により、川間駅南口で折り返すルート案で教習所と調整を進めている。
- ・ 前回の会議で協議した、木野崎地区の運行案については、高根・下町自治会へ提案したところ両自治会からは、新村医院の利用が多数見込まれるため、高根自治会館を起終点として、新村医院を最初に停車するルートにしてほしいという意見があった。

- ・ また、両自治会からは、まずは、高根自治会館を起終点としたルート案で運行を開始し、その後様々な意見が出た場合に、見直しを検討していきたいとのことであり、教習所とは水曜日と金曜日の運行として、運行の詳細について調整している。
- ・ 今後は、3月下旬に教習所との協定を締結し、4月から両自治会へ利用手引の配布やパスカード交付申請手続等の周知を実施し、5月から試行運行を開始する予定となっている。

原議長 事務局からの説明について、御質問・御意見等はあるか。

〈審議〉

原議長 令和2年5月から試行運行を開始するということであるが、野田自動車教習所ともその方向で調整を進めているのか。

事務局 そのとおりである。

中村委員 運行開始の案内は対象地区の方だけにしかしないということによろしいか。また、市報での案内はしないということによろしいか。

事務局 そのとおりである。

原議長 小山地区の運行案については、野田病院、イオンタウン野田七光台、川間駅南口を経由する。木野崎地区の運行案については、新村医院、小張総合クリニック、イオンノア店、梅郷駅西口を経由する。このルート上に今後、停発車場所の追加を求められる可能性はあるか。

事務局 通院、買物、駅へ行くことのために送迎バスを利用することが主な理由として考えられるので、運行案の停発車場所で利用者の要望を満たしていると考えます。

原議長 ほかになければ、事務局には5月からの試行運行開始に向けた調整をお願いします。

原議長 次に、議事（３）その他、提言書の提出について、事務局から説明をお願いします。

（３） その他、提言書の提出について（資料３）

〈事務局説明〉

- ・ 前回の会議では、提言書策定に向けて、議長から提案のあった三つのテーマを中心とした意見を各委員から提出していただき、取りまとめた案を今回の会議で協議することになっていたため、資料３の提言書案の内容の協議をお願いしたい。
- ・ なお、策定した提言書は、後日委員の皆様から市長へ提出していただくことを予定している。

原議長 事務局からの説明について、御質問・御意見等はあるか。

〈審議〉

中村委員 検討専門委員の設置は今回をもって終了となるが、今後市民のまめバスの運行に対する意見を吸い上げる別の場が提供されるということによるのか。

事務局 検討専門委員会は３月をもって終了となるが、現在考えているのは提言書にもあるように、今後の市内の公共交通の在り方を考えた場合、まめバスのみの協議だけでは難しい部分もあるため、それ以外の部分も含めて考えていく必要がある。市としては、５月から交通不便地域のモデル地区である小山地区と木野崎地区で送迎事業を行っていくが、その点も含め今後どうすべきなのかを約半年間かけて庁内の関係部署を交えて検討し、基本的な案の作成を考えている。その後、市の方針が決まったら、関係機関に入っていただいて、新しい会議を設置したいと考えている。その中で、まめバスの運行を含んだ施策を協議していくので、未定ではあるが、委員として公募あるいは野田市いきいきクラブ連合会、野田市自治会連合会から市民の代表を選出することも考えられる。

原議長 まめバスの担当は企画調整課が継続するのか。

事務局 そのとおりである。

中村委員 検討委員会開始当初に比べ、市も様々な意見に耳を傾けてくれているように思うので、まめバスに限らず市民の声を吸い上げるという姿勢を持ち、情報交換や視察等の考え方を今後も念頭に置いておいてほしい。

石塚委員 前回のダイヤ改正により、川間駅を起点にしてルートが分割されたが、非常に使いにくくなったという意見が多く、この点については、大変申し訳なく思っている。利用者は、川間駅を起点にした分割に対しては理解を示しているが、川間駅での乗り継ぎに対しては不満を持っており、この不満への対応が必要であり、苦情ではなく要望として対応してほしい。私も提言書で意見させていただいたが、利用者が多いルートであるので、これ以上不満の声が大きくなる前に、できるだけ早い見直しをお願いしたい。これだけ、不満の声が上がるのは、想定外であり、私自身としても大変申し訳なく思っている。

谷田貝委員 関宿城ルートの数字を見ると、関宿城ルートありきではない、良い対応策を考えてほしい。関宿城ルートを運行してもらえることは大変有り難いことだが、この関宿城ルートの運行が良いことなのかということは今後真剣に考えていかなければならない。様々な意見が出ることを、次の会議に期待したい。関宿城ルートにこだわらなくとも、何か良い方法があったら小山地区の送迎事業を参考にしながら、新しいものを見つけてほしい。

原議長 ほかに意見がないようなので、提言書の提出の進め方について、事務局から説明をお願いします。

事務局 提言書の提出については、各委員のスケジュールを確認した上で、提出の日程を後日お知らせいたします。

原議長 以上で本日の予定の議事は全て終了した。最後になるが、これまで  
まめバスの運行等に関し、必要な事項について、意見を申し上げてきた。

本日で、検討専門委員会議は終了となり、新しい会議へ移行するが、協  
議してきたことが、今後の市の交通政策の発展に繋がっていければと思  
う。これでコミュニティバス検討専門委員会議を閉会する。